

内容(予は要予約)	とき	対象(対は対象)
親子健康手帳交付	17日(木) 13:30集合 29日(火) 9:45集合	妊婦
パパママ教室(1回目)	29日(火) 10:30受付~11:30終了	主に妊娠6か月ごろまでの初妊婦とその夫
予 パパママ教室(2回目) ※予約は土日のみ	12日(土) 9:15受付~11:30終了 28日(月) 13:15受付~15:30終了	主に妊娠7か月以降の初妊婦とその夫
予 妊婦訪問	訪問は予約制です。 (希望者は保健センターへ連絡してください)	妊婦(訪問は妊娠中1回)
こんにちは 赤ちゃん訪問	3~4か月児健診受診前	すべての赤ちゃんとその保護者 (里帰り出産で市内滞在中の人も対象となります)
転入者予防接種等 説明会	17日(木) 10:00集合	主に7歳未満の子がいる転入世帯 (健康推進課窓口等で転入手続きした人を除く。)
HPを見る のびのび 計測日※1	西児童館 15日(火) 下山児童館 31日(木) 保健センター 17日(木)	10:00~10:30受付 未就園児 ※1医師の診察はありません。 待 親子(母子)健康手帳・乳児の場合はバスタオル
予 離乳食教室	24日(木) 10:00~11:30	主に第1子(4~5か月)をもつ保護者(乳児同伴可)
予 妊産婦婦科健康診査	予約してから、市内委託医療機関で受診してください。	妊婦と産後1年未満の産婦
BCG接種	11日(金) 9:15~10:15受付 22日(火)	H29年11月16日~H29年11月30日生 H29年12月1日~H29年12月15日生
HPを見る 予防接種 (記事ID 1192)	予 B型肝炎	対 生後1歳未満
	予 ヒブ、小児用肺炎球菌	対 生後2~60月に至るまで
	予 4種混合、不活化単独ポリオ	対 生後3~90月未満
	予 麻しん・風しん混合、麻しん単独・風しん単独	対 第1期: 生後12~24月未満 第2期: 小学校入学前の1年間
	予 水痘	対 生後12~36月未満
	予 日本脳炎	対 1期: 生後6~90月未満、2期: 9~13歳未満 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり
	予 二種混合	対 小学6年生
予 子宮頸がんワクチン	対 小学6年生~高校1年生の女子	
予 個別特定健康診査	10月31日までに市内委託医療機関で受診してください	市国民健康保険加入者で40~74歳の人
予 後期高齢者 医療健康診査	※胃内視鏡検診のみ、一部医療機関で12月まで受診可。	後期高齢者医療制度加入者 (H31年3月31日までに75歳になる人を含む)
予 個別がん検診※ (胸部・胃・大腸・前立腺)		40歳以上の人 (検診によって対象制限あり)
体成分分析装置測定会	随時(日時要相談)	市内在住の人

納期限(5月31日)までに納めてください

税目	納期	問合せ先
固定資産税	第1期	収納課
軽自動車税	全期	☎56-0610

口座振替の人は、納期限の日に引落しますので残高を確認してください。
納付は便利な口座振替を利用してください。
※パソコン、スマートフォンからクレジットカード納付もできます。

休日夜間診療案内

東名古屋医師会休日急病診療所
☎73-7555 (記事ID 1197) HPを見る

診療時間	9:00~16:30 (昼休憩1時間あり)
診療科目	内科・小児科
所在地	日進市蟹甲町中島22 (中央福祉センター内)

夜間の急病・ケガは下記に問い合わせを

救急医療情報センター ☎82-1133

愛知医科大学病院 時間外診療

救急でかかりつけ医が開いていない場合、診療を受けることができます。

まず、電話で相談してください。

☎62-3311(代表)

なお、時間内、時間外問わず、紹介状なしで受診する等の場合、選定療養費(5,400円)が必要になることがあります。詳しくは愛知医科大学へお問い合わせください。

まちの保健師 HPを見る
(記事ID 10608)

保健師が様々な場所に出向き、健康相談をお受けします。
気軽にご相談ください。
詳しくは市ホームページにてご確認ください。



公立陶生病院臨時休診

問 公立陶生病院経営戦略室 ☎82-1656 (記事ID 7444) HPを見る

公立陶生病院東棟全面稼働に伴う病院移転作業に伴い、5月1日(火)、2日(水)の外来診療を臨時休診します。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

ドクターからあなたへ

歯医者に行こう!

はなのき歯科 西山孝樹医師

街の緑がさわやかな季節になりました。
春は学校や企業でも毎年一斉に健康診断が行われます。
歯科検診もその一つですが、この時期は、診療室にも虫歯や歯周病、矯正の相談などの方々が訪れ、賑わいます。
歯科医院には、一昔前と比べると治療ではなく、予防(検診、クリーニング等)の目的で来院される方が大勢多くなりました。「痛くなってから行く」から、「健康を保つために行く」に多くの方の意識も変化しています。子供たちの中には、虫歯が1本もない子も多く、歯科医院で痛い思いをした経験がないためか、毎回の来院を楽しみにしてくれている子も沢山います。大人の方も、「昔治療した銀歯を白い歯に変えたい」とか、「これ以上歯周病が進まないように、定期的にクリーニングしたい」と来院されます。
みなさんは「健康寿命」をご存知ですか? 日常的、継続的な医療・介護に依存せず、自分の心身で生命維持し、自立した生活ができる生存期間のことです。厚生労働白書の最新のデータ

によると、男性 72.14 歳 女性 74.79 歳です。平成 22 年のデータと比較すると、平均寿命と共に健康寿命も伸びています。
2016 年の都道府県別の健康寿命ランキングでは、愛知県は、男性 3 位、女性 1 位です。
男女共に健康を維持しながら長生きできる人が多い県ですね。同白書の中の歯科疾患実態調査によると、80 歳で 20 歯以上の自分の歯を有する人の推移は、平成 17 年が 25.0% だったのに対し、11 年後の平成 28 年では 51.2% となっています。
28 本の永久歯のうち、20 本が残っていれば、美味しくものが噛めると言われていますので、この数字の伸びはとても意味があるのです。
健康で生活するために、みなさんにはぜひ歯科医院に訪れていただきたいと思います。
お近くの歯科医師会会員の先生にいつでもご相談ください。